



「ないとブログ」へようこそ

川村 殉子*

奈良県立医科大学附属図書館

I. はじめに

「図書館のブログ、書いてみない？」

昨年初夏のある日、その話は上司から持ちかけられました。その頃インターネットの世界では、個人による私的なブログを開設・更新することが急増しており、企業や自治体もまたその活用を始めていました。

図書館のブログとしては、公立図書館や中学校、高等学校の図書館（室）による住民や生徒を対象にしたブログが、簡易な検索で数多く見つけることができました。しかし大学図書館のブログは、ほんの数えるほどだったと思います。

II. 奈良県立医科大学附属図書館(以下、当館)の現状

当館は医科大学の附属図書館で、サービス対象は医学・看護学科生および教職員（附属病院を含む）です。蔵書の特徴は医学専門書がほとんどで、購読雑誌の多くは学内から24時間アクセス可能なオンラインジャーナルです。

ですから、蔵書・文献検索、それらのダウンロード、また他機関への文献複写依頼が館外からできれば、わざわざ当館へ足を運ぶ必要がないという利用者もいるのではないかと思います。

また当館の広報手段は、ホームページ¹⁾や館内・学内掲示が主であり、内容によっては印刷物を各部局や教員のメールボックスに配布していました。

III. 当館からの発信

当館はここ数年、業務体制の変動や設備更新などによる利用者サービスの変更がたびたびあり、利用者がとまどう場面を幾度も見受け、利用に関する問い合わせも頻繁にありました。たとえ小さなサービス変更であっても、利用者に伝えることができないかと、カウンター業務担

当者として思い始めていました。

また当館自身をもっとアピールする必要があるのではないかとも思っていました。研究・教育機関にとって“図書館”は重要な位置にあるはずが、他部署の職員から「どんな業務をしているのかわからない」と冗談交じりに言われるほど学内における当館の認知度は低く、孤立しやすい存在ではないかと感じていました。当館そのものをアピールしていかなければ利用者の図書館活用は望めず、活用されなければ人員削減、予算縮小、ひいてはサービスの低下という悪循環に陥ってしまうかもしれません。

IV. ブログの開設まで

当館発信のツールとして、開設・運営において無料・安全・簡単なものが利用できることと見込み、ブログを立ち上げることになりました。容易に更新できること、そしてネット環境として安全であることを基準に、複数の無料サイトから現在利用しているもの²⁾を選択しました。

利用サイト、扱う内容などを決めて図書館長と所属長の決裁をいただき、晴れて「ないと（奈医図）ブログ」³⁾の開設（2007年6月）が決まりました。

V. ブログの体裁

文体は、話し言葉でやわらかいものにしました。まずは利用者に当館を身近に感じてもらい、関心をもってもらうことがねらいです。

色調は適度に明るく、構成は極力シンプルなものを選びました。勉学、研究や業務の気分転換に「ちょっと覗いておこうか」と思ってもらえるのが理想です。

記事は私がメインとして書いていますが、内容により他の職員が書くこともあります。そのときは私の文体と違いますから、閲覧者を混乱させないようにページの最後に文責者のイニシャルをつけてくれています。

更新頻度は週に4～5回とし、土・日曜日と祝日は基本的に休んでいます。

*Junko KAWAMURA : 〒634-8523 奈良県橿原市四条町840.

Tel.0744-22-3051 Fax.0744-23-3273

kawamura@naramed-u.ac.jp

(2008年5月30日 受理)



VI. 掲載する記事

記事内容は、まず館内利用の広報です。文章と一緒に写真を掲載したり、関連サイトへのリンクを張ったり、できるだけイメージしやすいように心がけています。

当館ホームページの「お知らせ」欄で扱わず、ないとブログで取り上げていることに、日々の業務や館内の様子などがあります。

単行本にブックカバーをかける作業といった、利用者からは見えにくい業務を紹介したり、図書館以外の学内行事や新規事業にあたっての意欲や苦労など、一職員としての視点から率直な感想を交えて当館の活動を伝えています。

また館内の様子についても、空調が効かず暑いとか試験が近いから混んでいるということから、その日の利用傾向やよくある利用者とのQ&Aを紹介することもあります。

そしてページの最後には、息抜きにもしてほしいブログとして、目の保養に学内で見かけた植物の写真もよく載せています。図書館前には非常に立派な桜の木が数本ありますが、その咲く様子を毎日定点観測のように撮った写真は特に好評でした。



2階閲覧室からの眺め

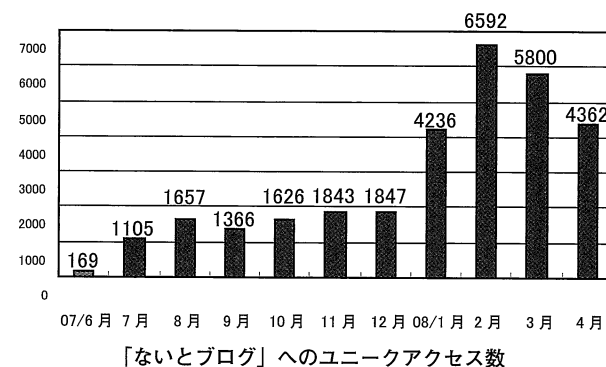
VII. 利用者の反応

ないとブログ開設の告知は、最初はホームページでの広報と館内掲示のみでした。その後図書委員会で報告したところ、学報編集員を兼任されていた先生の配慮で学

報で紹介してもらえることになりました。開設4ヶ月後（2007年10月）の学報掲載でしたが、この頃からしだいに安定したアクセス数になりました。

そして時々「ブログを見えていますよ」「ブログに載っていた○○の件について聞きたいんですけど」というように声をかけていただくようになりました。

2008年3、4月が減少したのは、大学が春期休業に入ったことと、卒業・入学に伴う学生の入れ替わりによるものだと思います。



VIII. プチ企画

ないとブログを開設して約半年経つ頃、これまでつきあってくださった閲覧者に何か楽しいことを提供できないかと、小さなプレゼント企画をたてました。

アクセス数は安定しているもののコメントはまだいただいたことがなかったので、一定期間内にないとブログへコメントをくださった方には、抽選で簡易豆本をさしあげるといいます。豆本は、廃棄図書や使用済み封筒を材料に、職員が手作りしました。

結果は残念ながらコメントをいただけず、閲覧者の方に口頭で欲しいと言われてさしあげることになりました。コメントを書くには、名前（仮名可）やメールアドレスの入力が必須設定なので、面倒に思われるのかその後もコメントはなかなかもらえませんでした。

ただこの数ヶ月後に初めてのコメントをいただき、もしかしたら学外の方からかもしれません、非常に嬉しく思いました。

IX. 「ないとブログ」の今後

もうすぐないとブログを開設して1年になります。思っていたよりもコメントをいただけず、どのようにして双



方向のコミュニケーションがとれるようになるかを思案しているところです。

ないとブログのこれからですが、扱う内容についてはもっと閲覧者の関心があるものにしたいと思っています。閲覧者の興味はどこに強くあるのか、利用者は何を知りたがっているのか、過去のアクセスを丁寧に見直し、「ないとブログを見ないと損だ」と思ってもらえるようにしていきたいと思います。

また業務内容も引き続き話題にして、当館がどのような活動をしているのか学内の方に理解していただき、当館に対してさまざまな要望があがるほどアピールができ

ればいいなと思います。

いずれにしても、当館の利用促進の一助となれば、ないとブログを更新し続ける意味があるのではないかと思います。

参考 URL

- 1) 奈良県立医科大学附属図書館ホームページ[internet]. <http://www.naramed-u.ac.jp/lib/>
- 2) Seesaa BLOG[internet]. <http://blog.seesaa.jp/>
- 3) ないとブログ[internet]. <http://naramedulib.seesaa.net/>

56 巻(2009 年)「広場」の原稿募集

「広場」は、日々の業務についての情報交換と、同じ職業人が発信するエッセイを織り交ぜて掲載しています。より多くの皆さまに沢山の情報をお寄せいただくフォーラムとして、56 巻(2009 年)の各号の「広場」のテーマを次のように設定しました。

皆さまのご投稿をお待ちしています。執筆者のご推薦も歓迎します。

56 巻 1 号 (2009 年 3 月) : 職場で話題になっていること

皆さんの職場の最近の話題はなんでしょう? どんなことでも結構です。「広場」にも教えてください。

56 巻 2 号 (2009 年 6 月) : 防災マニュアル

図書館単独で防災マニュアルを備えている、もしくはこれから作成しようとして現在検討中など、防災に関する危機管理への取組についての各館の情報をお寄せください。

56 巻 3 号 (2009 年 9 月) : 図書館の夜間利用実態:学生アルバイトさんにきく

学生アルバイトさんが知っている夜の図書館について、面白いエピソードや困った利用者など、ぜひお聞かせください。

56 巻 4 号 (2009 年 12 月) : JMLA委員会 part.4

委員会の活動や実情を、委員の方たちにご紹介いただきます。

原稿枚数は、25 字×22 行で 4 枚から 6 枚程度。執筆規定は、本誌 55 巻 1 号 (2008) 91-94.または日本医学図書館協会ホームページをご覧ください。

横浜市立大学医学情報センター 渡辺真希子